



平成20年(2008年)

1/1

第1151号

発行：小平市
編集：企画政策部
秘書広報課
〒187-8701
小平市小川町二丁目
1333番地
☎042(341)
1211(代表)

市報 こだいら



平櫛田中作「郭子儀」

郭子儀は中国・唐代の武将で「子孫繁栄」「長寿」の象徴的存在です。

平成二十年
元旦

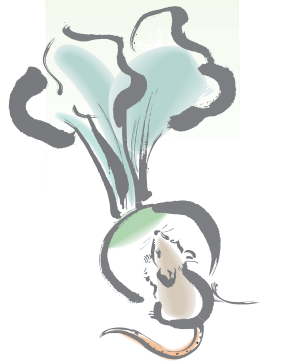
◇小平市ホームページ <http://www.city.kodaira.tokyo.jp>

◇電子メール info@city.kodaira.lg.jp



ルネフォトコンテスト作品「新たな旅立ち」師岡仙治さん(小川東町)

迎春



明けましておめでとうございませう。ご家族とともに、希望に満ちた出発をされたこと存じます。

さて、小平市では平成18年に小平市第三次長期総合計画をスタートさせ、計画的な行政運営も3年目を迎えることができました。改めて、市民の皆様のご指導とご協力で衷心より感謝を申し上げます。

昨年は、都市と地方の格差問題を始め、夕張市の財政破綻に象徴されるように自治体財政の自立と責任が明確となり、国と地方の役割と責任が争点となりました。「国がどうあるべきか」という問題提起でもあったように思いました。そのような中で、第二次

の地方分権推進に向けた議論も本格化し、地方分権改革と税源移譲に向けた動きも活発化してきました。思うに、20世紀は規制強化と集権化での国づくりにまい進し、都市への集中、



小平市長
小林 正則

地方の過疎化と経済的な格差を生み出しました。今後は、これらの課題を克服する新たな国づくりをしなければなりません。そのキーワードは、規制緩和と分権化、そして、市民と

の協働と考えます。社会全体が豊かに、そして多様化し、新しい公共の領域が広がる今日、これらの解決には、市民の皆様との協力は欠かせません。多様な担い手を育成・支援し、市民自治の実現を図らなければなりません。今年、私にとって公約実現の仕上げの年でありませう。その中心をなすのが自治基本条例です。なんとか形にしたいと思っております。

皆様におかれましても、十二支のスタートに当たる「子年」が、夢の実現に向け、すばらしい年となりますようにご祈念申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。

年頭にあたって



明けましておめでとうございませう。年頭にあたり、小平市議会を代表いたしまして皆様にごあいさつを申し上げます。

市民の皆様には新たな希望と抱負を胸に、輝かしい新年を迎えられたことと思います。また、日ごろから市議会の活動に対して、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、能登半島地震、新潟県中越沖地震や台風による豪雨災害など、自然災害が多く発生した年でありました。被災者の皆様には、一日も早く元の生活を送ることができませうよう、心からお祈り申し上げます。本年は、北京オリンピックやパラリンピックが開催

される年であります。多くの日本人選手の活躍を期待するとともに、国民に夢と大きな感動を与えてくれることを願っております。



小平市議会議長
小林 秀雄

小平市におきましては、昨年、地域社会の交流を図り、子どもたちが安心して遊べる場として、小川町二丁目地域センター・児童館が開館し、市の行財政の仕組みを方向づける小平市行財政再構築プランも策定されました。本年は、学童ク

ラブ室の新設や病後児保育の開始などの子育て支援施策の充実、障がい者福祉計画の策定、青少年育成プランの改定などが予定されているところです。市議会といたしましても将来都市像である「躍動をかたちに 進化するまち こだいら」の実現を目指し、自立し活力のあるまちづくりに、力を尽くしたいと考えています。市民の皆様の声をきめ細かく市政に反映するとともに、皆様のニーズを実現するために積極的に議論をまいります。終わりに本年の皆様にとりまして幸多き一年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。